



看護問題対策委員会ニュース

全日本赤十字労働組合連合会 NO. 21-04 2021. 12. 24

日本医労連「2021年度春・看護要求実現全国交流集会」に参加を

医労連の看護集会がオンラインで開催されます。単組からの積極的な参加をお願いします。今年は、「看護労働・感情労働・メンタルヘルス」などをテーマにした講演を予定しています。詳しくは、全日赤発文書第2021-60号をご参照ください。

日時：2022年2月2日（木）13:30～17:00(13:00～接続開始)

内容：記念講演「看護労働・感情労働・メンタルヘルス(仮題)」

講師：武井麻子氏

(東京都立大学特任教授・日本赤十字看護大学名誉教授)

基調報告

特別報告 ①大運動署名の取り組みについて(全医労)

②コロナ禍での組合活動報告(北海道)

申込：下記のURLもしくは右のQRコードより事前登録をお願いします。

【参加登録URL】

<https://bit.ly/3DT0qmj>



申込締切：1月25日

日本医労連「2021年度夜勤実態調査結果」記者会見

日本医労連は12月7日、都内で会見を開き、夜勤実態調査の結果を発表しました。2交替制夜勤を導入している病棟は約4割で、過去最多となり、2交替制夜勤で「16時間以上」の長時間労働に従事している割合は、病棟、看護職員ともに半数以上に上ります。会見では、「2交替夜勤が進むのは看護師の人員不足が背景にある。コロナ禍で医療がひっ迫する中、1人の看護師が複数の病棟で夜勤をする実態になっており、看護師の大幅増員が必要」と指摘しました。

また、日本医労連では、各県ごとでの「夜勤実態調査」と「看護師需給推計の見直しを求める」記者会見と県要請の行動提起をしています。県医労連ごとに計画されますので、積極的に参加し、現場実態を世間に訴え、看護師大幅増員につなげましょう。